

ペルー食品店 ANTOJITOS PERU アントヒートス ペルー
栗東市小柿 5-10-16 Tel/Fax. 077-554-8865 Cel. 080-3786-5984

こんなところに！ペルーの食品店

このお店は1号線の近くにあり、まず大きな看板に目を奪われる。思わず、なんだろう？と思わせられる外観だが、中は気さくなペルーのお店である。

何を売っているの??

お店は、主に2つのスペースに分かれている。入り口近くでは、食料品や日用品、ペルーから仕入れた雑貨等を販売し、奥はペルー料理を楽しめる食堂になっている。

入り口から入ると正面にレジがあり、お店の人が迎えてくれてうれしい。商店の方は、午後10時まで営業しており、夕方は仕事帰りの人でにぎわうそう。

ペルーで売られている黄色い「CUSKOLA」の飲み物や、スペイン語の新聞、服、雑貨なども売られている。



入り口近くの食品・雑貨を販売しているところ

家庭でもペルー料理が楽しめる、
キットも売っている。



手作りエンパナーダも。

その販売しているスペースをまっすぐ進むと座って食べられる食堂が現れる。

この食堂では、なんとペルー料理のbuffetが食べられる。(午後4時まで)

1.5時間で1000円という値段で、なかなか食べられないペルーの料理が食べ放題。

デザートも並ぶペルー料理を思う存分味わえる。

ラテン音楽が流れる中、Cebiche(セビチェ)と言われるシーフードのマリネや、ケーキのように見える Causa(カウサ)というマッシュポテトサラダなどを食べていると気分はすっかりペルーにいるよう。



たくさんのペルー料理がならぶ。

どんな人がやっているの？

店長の井野口エドアルドさんは、日系3世で、1991年から日本に滞在しているそう。今回は、店長のエドアルドさんと奥さんのモニカさんにお話を伺うことができた。



お店を始めたわけ

1991年に日本に来たエドアルドさんは、最初は別の仕事をしていましたが、商売をしたいと思ひ、お店を開いた。商売が好きだということもあったが、日本の人ともっとコミュニケーションをとりたい、日本に住んでいるペルー人をもっと知りたい、ペルー人を助けたいという思いがあった。また、子どもが生まれたこともあり、一緒に過ごす時間のことを考えた。

でも、こういうお店には、なかなか日本の人は入りにくい。

そのため、朝市のような市やお祭りのときに出店し、ペルー料理を知ってもらうために安い値段で味わってもらうようにしている。



出展しているときのメニュー

(近くだったら配達も可。)

安くて、普段食べられないようなペルー料理が並ぶ。

日本に来て・・・

日本に来て、特に苦労したと思うことはない。危ない目にあったこともあるが、それはペルーでも日本でも同じだと思っている。

ただ、奥さんが日本語があまり分からないため、子どもたちが通っている学校の先生とうまくコミュニケーションがとれないことが気がかりである。

また、子どもが「いじめ」の対象になることも心配である。

ANTOJITOS PERU

日本にいる人が、ペルーのものを食べたい、飲みたいなどと思ったときに、このお店に来てほしい。そういう思いでこの名前をつけた。

エドアルドさんのお話にも出てくるように、このお店は、ペルーの人たちの憩いの場の存在であるだけでなく日本の人も歓迎している。

最初は少し入りにくい雰囲気かも知れないが、入ってみると家族のような温かさがあり、食堂では近くにいる人に気軽に話しかける場面が見られる。

ぜひ一度足を運んでペルーの雰囲気を感じてほしい。

(OV 訪問の感想)

日本で今、苦労していることや私たちに望むことを伺ったときに、お二人とも「ない」と言われたのに驚きました。ただ、やはり子供の学校は問題のようなので、私も協力できることはしていきたいです。最後は、家族で仲の良い姿を見せてもらい、心温まる訪問になりました。今度とも訪ねて行きたいお店になりました。 (嘉本 有里子)

日本語が通じず、嘉本さんに翻訳していただきました。家の近所のお店でしたが初めて訪れ、話を聞くと子供のことで学校とコミュニケーションがとれず困ってらっしゃるとのこと。これからはできることがあれば是非手助けさせてもらいたい、という思いがわきました。訪問を通してお店に目をむけることができるようになったのが大きな収穫です。

(大森 比呂子)